

第6回

生命科学研究科 交流ミーティング

日時 **2016年**
9月16日 金 **16:30~18:00**

片平会場(本会場)：生命科学研究科プロジェクト棟 1階 講義室B
青葉山会場(ビデオ中継)：生物棟 大会議室/ 浅虫会場(ビデオ中継)

講演1

石田 森衛 博士 (膜輸送機構解析分野)

「メラノサイトにおけるメラノソームの輸送研究」

黒色の色素であるメラニンが紫外線の吸収という重要な生理機能を持つ。メラニンはメラノサイト内においてメラノソームという特殊なオルガネラ内で合成されるが、メラニンが生体内で機能するためには単にメラノソームが形成されるだけでなく、それらが皮膚や毛髪を形成するケラチノサイトへと輸送される必要がある。今回の発表ではメラノソーム輸送に関する最新の知見と今後の展望に関して紹介したい。

講演2

市之瀬 敏晴 博士 (神経行動学分野)

「ショウジョウバエにおける経験依存的な行動変化を制御する神経基盤」



図：連合記憶に重要な役割を果たすキノコ体(Mushroom body)に投射する神経細胞群。各細胞種が異なる色でラベルされている。

ショウジョウバエは連合学習やアルコール依存など様々な経験依存的な行動変化を示す。そのシンプルな神経構造と多彩な遺伝学的手法から、数細胞レベルでの神経ネットワークの機能解析が近年盛んに行われている。本セミナーではこのトピックについて、これまで報告されてきた代表的な仕事をまとめた上で演者が所属する研究室で得られた新しい知見を報告する。

●本セミナーは、研究科内の交流・将来的なコラボレーションの促進を目的に始まったものです。皆様奮ってご参加下さい。
●参加研究室・次回世話人を募集中です。詳細は世話人までお問い合わせ下さい。

世話人：

山方 恒宏 (神経行動学分野)

中嶋 悠一郎 (細胞動態制御分野)